

パラリンクマットレス施工作業標準書

受入	1. 荷下ろし：ナイロンスリングを用いて、フラットな場所に荷下ろし(三段積込可)	写真①
	2. 検査：概要図(巾・縦帯幅(±2mm)・縦帯ピッチ(176mm-180mm))	図①
	ラベルⅠ【品番・ロール長・生産ロット番号】、(ラベルⅡ【敷設位置明示】)、損傷有無の確認	図②
施工	1. マットレス施工基面まで床付けを行う。地下水位が高く、湧水がある場合は、釜場排水工等で排水させる。 掘削法面は勾配をつけても良い(勾配をつける場合は長さに注意)。基面が著しく悪い場合は施工性を考慮し、サンドマット工を行う。	写真②, 図③
	2. 床付け面に奥行4.2mごとにチョーク、水系等で目印をつける(割付する)。構造物の中心位置にも目印する。	—
	3. パラリンクの1枚あたりの長さは地盤が悪いと碎石によりめり込む恐れがあるため、若干程度余裕長を見込む。	—
	4. パラリンク縦帯(切断面)がバラつかないよう、事前に切断箇所を黒テープにて纏めると良い。	写真③, 図④
	5. 吊冶具(もしくはナイロンスリング)にて吊上げ、所定の位置に引き出す。もしくは、あらかじめ別ヤードにて引き出す。 パラリンクを重機にて吊上げ、敷設をするときに、方向性が安定しない場合は介錯ロープにて補助し、敷設方向を安定させる。	写真④
	6. 1枚毎に折り返す位置に印をつける。折返し部とその印が大体合うように設置する。斜めにならないよう注意する。	写真⑤
	7. パラピンにて仮押さえ(10㎡あたり4本程度) 注:パラピンは縦帯に刺さない 土のうでも可。	写真⑥
	8. 切断はカッター・タチバサミ・ナイフ(遊びがないもの)にて行う(但しロール余裕長は約50cm/ロールである)。	写真⑦
	9. たるみ・ゆるみを取り除く為に、手作業による引張り調節。横帯は適時切断可能。縦帯5~6本単位を一纏めにして作業するとよい。	—
	10. 両側法面に沿わせたパラリンクがずり落ちないようにパラピン等で仮固定する。	写真⑧
	11. 隣り合うパラリンクは縦帯1本分(180mm)を重ね合わせることを目安とする。 注:パラリンクの割付幅は4.2m。	—
	12. 両側面と底面に不織布(フィルター材)を設置する。	写真⑨
	13. 碎石を撒き出し、転圧する。注:パラリンク上を直接重機が走るのを避ける。	写真⑩
	14. 所定の厚みまで碎石を充填した後、沿わせたパラリンクを碎石上面に敷設する。必要ラップ長が確保できているか確認する。	—
	15. ラップ部は黒テープ等で縦帯ごとに固定すると良い。同じ縦帯を結合することが標準であり、下部敷設・側面敷設の時から意識する。	写真⑪
安全	吊荷の下には入らない。	—

受入

荷下ろし：ナイロンスリングを用いて、フラットな場所に荷下ろし（三段積込可）



写真①-ナイロンスリングにて荷下ろし状況



写真②-パラリンク置場

受入

図①

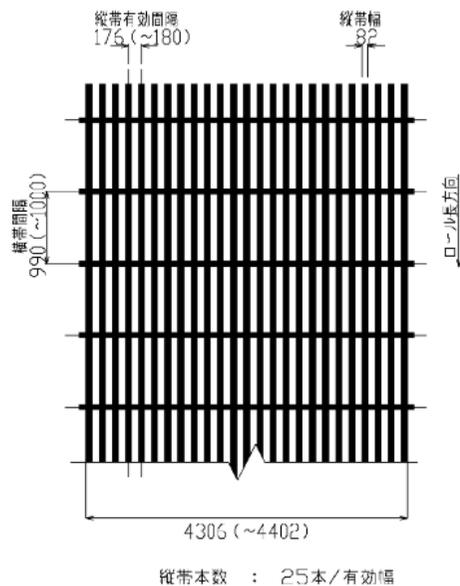


図-1 パラリンク(100L)製品図

図①

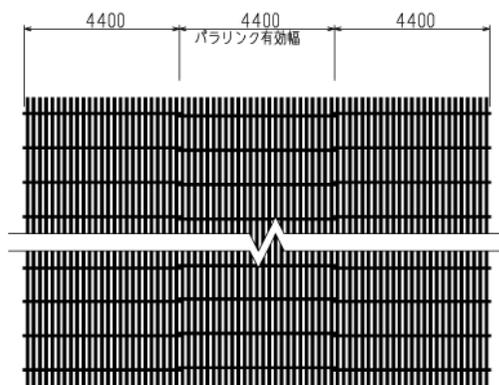


図-2 パラリンク敷設図

図②

	PARALINK		パラリンク
品番	TYPE 500L	SPECIFICATION No 74803	スペック番号=生産管理番号
巾	WIDTH 4.5 metre	LENGTH 95 metre	長さ
メートル			メートル
オーダー番号	ETP NUMBER I-1	RUN NUMBER 7006/3	生産ロット番号
ロール番号	ROLL NUMBER 000009		
シース	SHEATH : POLYOLEFIN		ポリオレフィン(ポリエチレン)
芯材	FIBRE : POLYESTER		工業用ポリエステル長繊維
	MANUFACTURED IN INDIA Maccaferri Environmental Solutions (Pvt) Ltd. Webside Website http://www.maccaferri-india.com		インド生産 マカフェリー社インド工場

施工

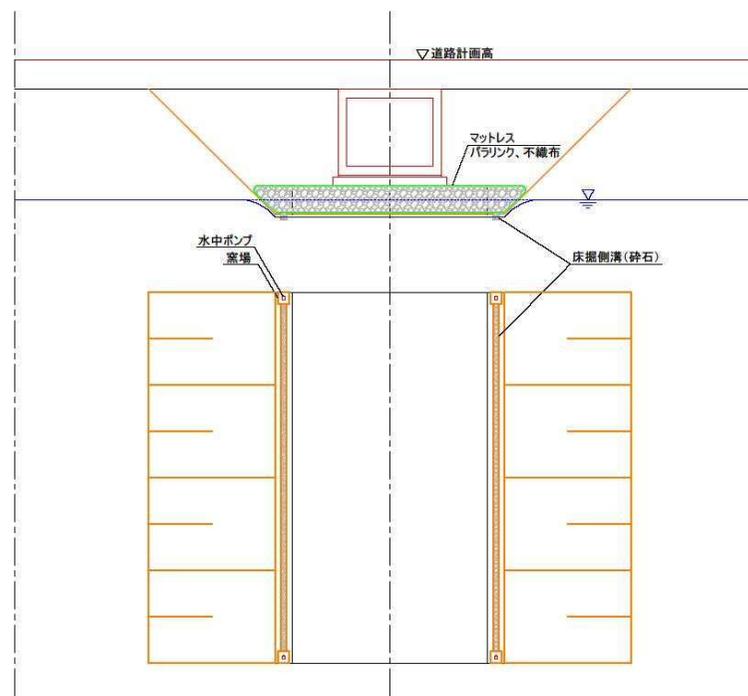
写真②



写真②



図③



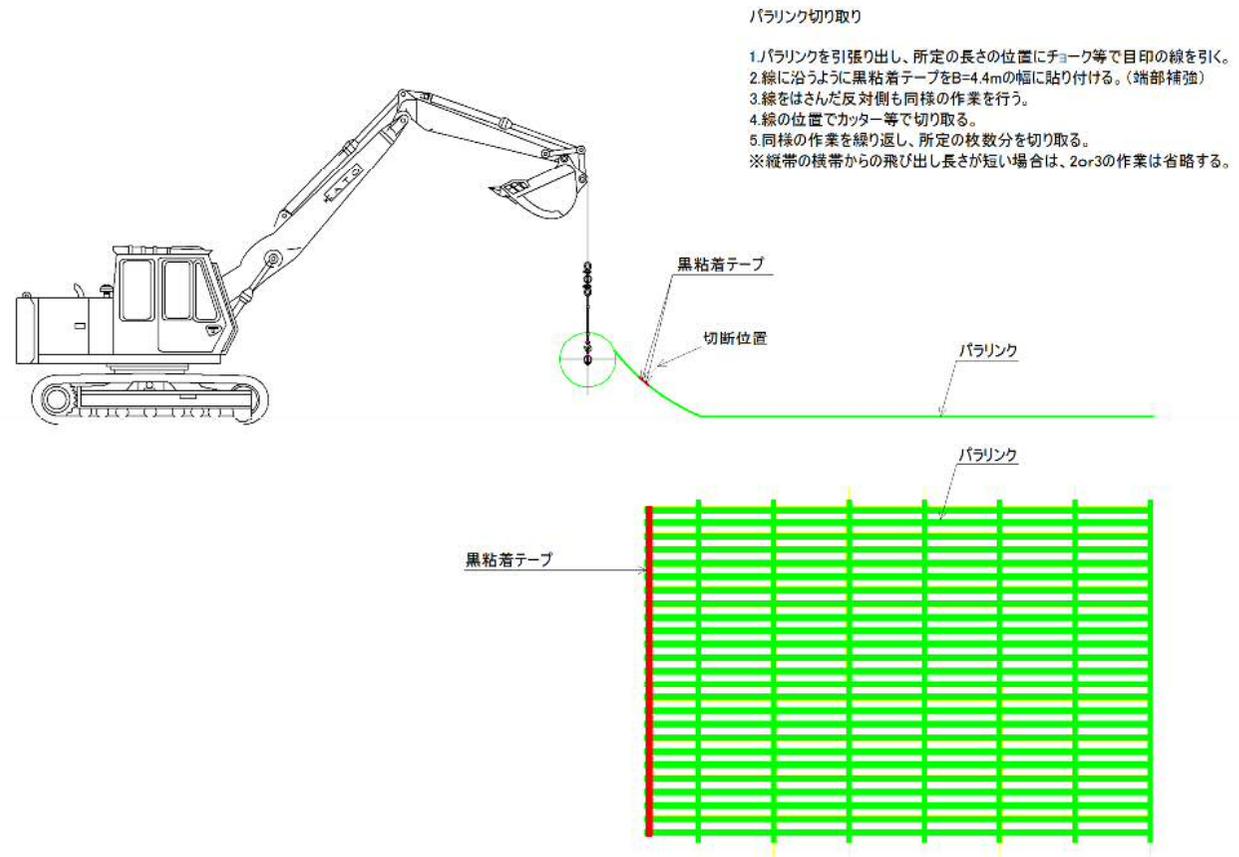
掘削底面に床掘側溝をつくり、
端部に釜場を設置し水中ポンプ
で外部に排水する。
周辺地盤の沈下が発生しな
いか注意する必要がある。
釜場の箇所のマットレスは最
後に施工する。

施工

写真③



図④



施工

写真④



写真④



写真⑤



施工

写真⑥



写真⑦



施工

写真⑧



写真⑧



施工

写真⑨



写真⑩



施工

写真⑪



写真⑪

